

最新のデザインと技術で架け替えられます。



工場仮組立て状況

工事概要

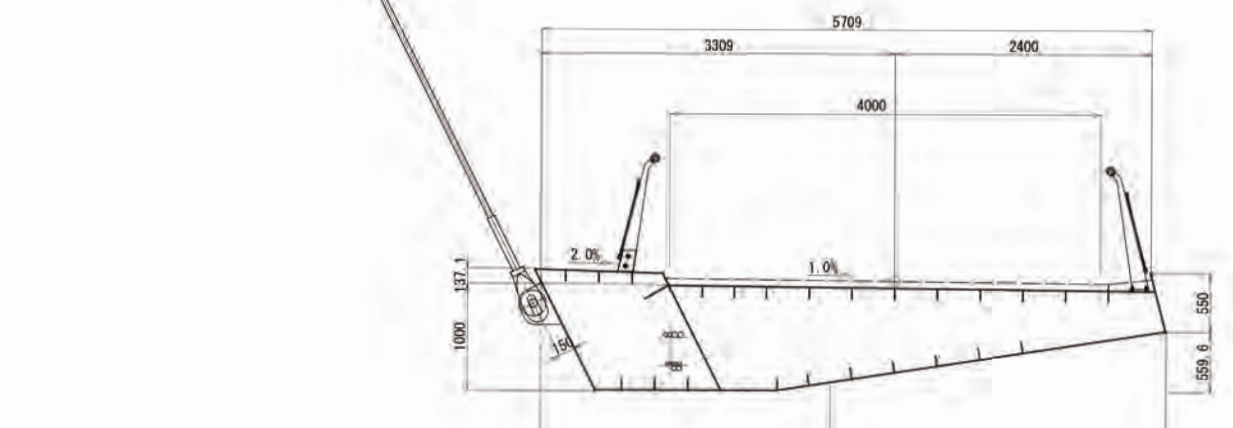
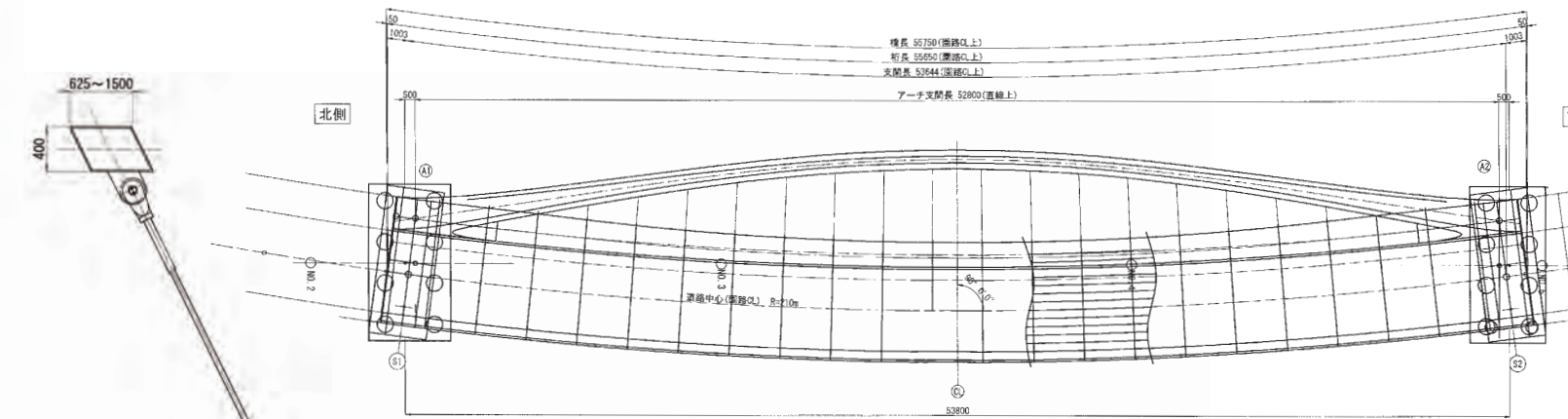
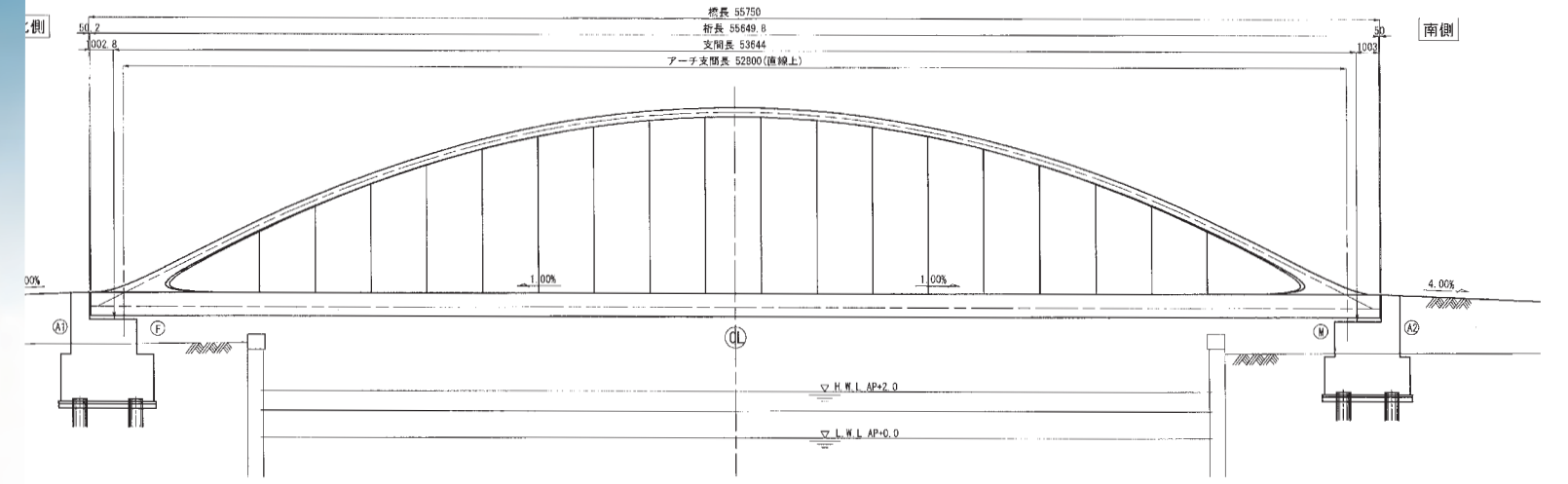
構造概要

都心方面から羽田空港方面まで、東京港全体を見渡すことができる[都立潮風公園]には、公園を南北に分ける首都高速湾岸線が横切っています。その湾岸線の東京港トンネル入口の地上にトンネル用の換気塔があり、換気塔の海側に、公園の南エリアと北エリアを結ぶ「潮風橋」が架かっていました。海沿いの散策を楽しむには、なくてはならない橋なのですが、経年劣化に加えて東日本大震災の影響もあり、2012年11月に撤去されました。その「潮風橋」が、7年振りに最新のデザインと技術で復活し、海辺の遊歩道で、公園の南北を往来できるようになります。

工事名	潮風公園橋梁鋼けた製作・架設工事
施工位置	東京都品川区東八潮地内
発注者	東京都東部公園緑地事務所
形式	下路式鋼アーチ橋
主要鋼材	SM490、SM400
鋼重	120t
架設工法	架設桁架設工法
橋長	55.750m
桁長	55.650m
有効幅員	4.0m



位置図



矢田工業株式会社

〒963-0921 福島県郡山市西田町鬼生田字阿広木1番
 TEL.024-972-2811(代)
 FAX.024-972-2884
<http://www.yada-k.co.jp>



東京都
潮風橋

SHIOKAZE BRIDGE

夢を力に、明日へ架ける。
矢田工業株式会社

曲線桁で、構造ディテールを洗練。

公園の景観とのハーモニーと、海に向かって広がる眺望と。

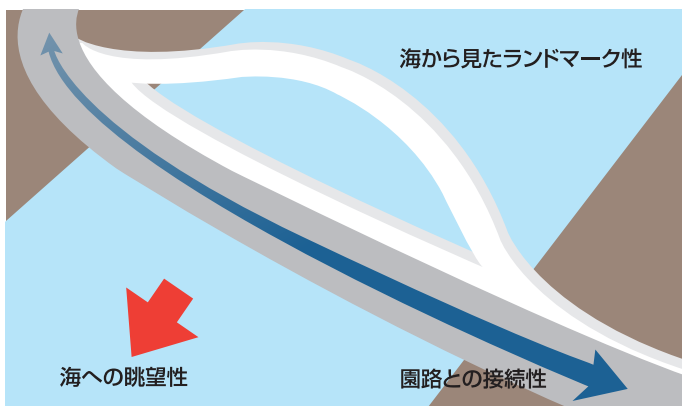


構造

【曲線桁】RING GIRDER(リングガーダー)

橋の床がリング状態にカーブしていることによって、真っ直ぐの桁とは異なるアーチ状の構造性状になる桁。

3つのコンセプトを具現化しました。



「海から見たランドマーク性」、「海への眺望性」、「園路との接続性」という3つのコンセプトから、滑らかに曲率を持ったデッキの形状を選択しました。シンボリックな開口をアーチ形状に持たせ、場の一体性と開放感の向上をめざしています。53.6mのスパンに対して、橋桁中央部で2mの変化を生む円弧を描いています。

工程

潮風橋全体工事工程

	工事内容	平成29年度	平成30年度	令和元年度
I期	下部工事	■	■	
II期	上部工事		■	■
III期	橋面・取付園路工事			■

上部工架設概要

架設桁を先行して送り出し、その上を利用して、地組した本体桁を架設する『架設桁架設工法』を採用。

